

# ふるさと じまん

わたしのお気に入り

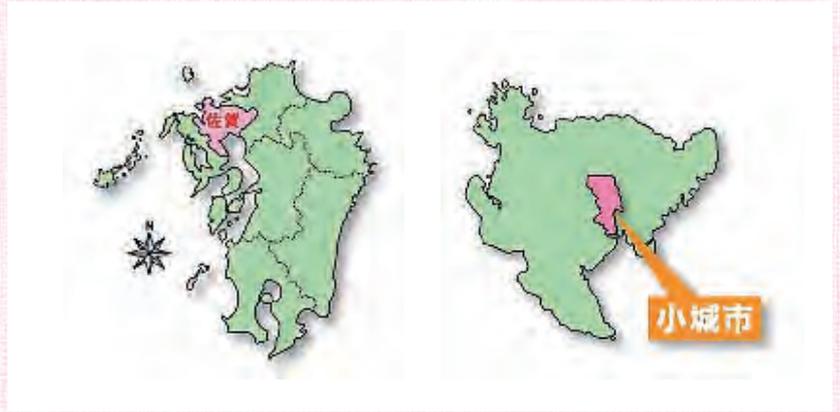


写真1 佐賀県と小城市の位置 (小城市HPより)

佐賀県は有明海の最奥部に位置し、北は玄界灘、南は有明海と食材豊富な県です。小城市は佐賀県のほぼ中央に位置し、有明海に面しています。

## 佐賀県 小城市



鎌倉時代、頼朝を救い  
栄華を極めた下総の千葉氏  
が築いた城下町小城市

副島

(昭和58年卒)  
渉

こんにちは、私は昭和58年卒(88期生)の副島 渉といいます。副島と書いて「ソエジマ」と読みます。大学に入学した頃はよく「フクシマ」と間違えられました。佐賀県特有の苗字(読み方)のようです。

大学卒業後ふるさと佐賀に戻り、佐賀県のほぼ中央の小城市で開業して36年が経ちます。

### 地理

皆さん、佐賀県と聞いてすぐに場所を思いつきますか? 大学入学とともに東京に出てみると、佐賀県の場所を言い当てる人は少なかったようです。「福岡の隣?」「長崎県でしょ」といった感じです。かくいう私も、茨城県と栃木県の場所を正しく言い当てられるか、怪しいです。栃木県が左?

それはさておき、九州の有明海の最奥部が佐賀県で、そのほぼ中央が小城市です(写真1)。平成の大合併で小城町、三日月町、牛津町、芦刈町の4町が合併して誕

生しました。特に三日月町は、「木枯し紋次郎」の作者、笹沢左保さんが紋次郎の出身地「三日月村」と同じということで、たびたび訪れておられ、亡くなる前には、三日月町の病院で療養されていました。また、佐賀市の富士町には晩年住まれている、笹沢左保記念館として残されています。

小城市は南に有明海、北に天山という標高1,000メートルあまりの独立峰があり、両者とも小城市のシンボルです。地元の学校の校歌には必ず載っているといっても過言ではないと思います(写真2)。

有明海というと皆さん何を思いつかれるでしょうか。「ムツゴロウ」! 「有明海苔」! あのエイリアンのモデルとなったという「ワラスボ」を思いつく人はかなりのマニアですね(写真3)。

私の住んでる芦刈町は、小城市でも有明海のすぐそばでムツゴロウ保護区があり、「ガタ」(潟)にはムツゴロウが飛び跳ねています。私も小さい頃(約55年前)はよく



写真2 天山（左）と有明海（右）

天山は標高約1,000mの独立峰です。その裾野には湧水が豊富で酒造りが盛んです。写真手前に見える白い建物「佐賀牛」の牛舎です。有明海は、干潮時には数キロにわたり潟となり、海苔の養殖が盛んです。先に見える支柱の並びが、海苔網が広がっている様子です。



写真3 ムツゴロウ（左）とワラスボ（右）

ムツゴロウは歩道のタイルにはめ込まれている写真です。小城市はもちろん佐賀県のアイドリック的存在です。

ワラスボは生きたワラスボが手に入らず干物の写真です。目は退化し剥き出した歯がまるでエイリアンですが、味はまあまあです。

ワラスボや牡蛎、赤貝や他の貝類を取りに行ったものです。いつも大漁でした。ただし、近年は諫早湾堤防や地球温暖化のせい、海苔の生産も日本一を兵庫県に譲り、ムツゴロウやワラスボもすっかり少なくなってきました。貝類に至っては絶滅に近い状態です。

## 歴史

小城市の町は、鎌倉時代末期に下総の地からやってきた千葉氏（千葉胤貞）によって築かれた城下町です。あのNHKの前の大河

「鎌倉殿の13人」で頼朝を救った下総の千葉氏です。千葉氏滅亡後も鍋島藩によって受け継がれ今に至っています。

## シュガーロードと羊羹

さて、シュガーロードという言葉をご存知ですか？江戸時代、外国に門を開けていたのは長崎出島です。出島から砂糖が伝わり、江戸まで運ばれる道がシュガーロード（長崎街道）です。長崎の出島から北九州まで続きます。その街道沿いには甘いお菓子が広まった

といわれています。

長崎で有名なのはカステイラですね。小城市で有名なのは『羊羹』です。小城市内には人口17,000余人の町に、現在20数軒の小城市羊羹のお店があります（写真4）。

## 日本酒

天山から湧き出る伏流水が豊富な街で、酒造りが盛んです。小城市だけでも3軒の酒蔵があります。天山酒造、小柳酒造、光栄菊酒造です。3軒ともすっきりとしたお酒でお勧めなのですが、天山酒造のその名も『天山』がお勧めです。大吟醸というわけではありませんが値段もお手頃で日常のお酒としては超お勧めです。東京でも佐賀の酒を扱うお店が多いように聞いております。ぜひお試しください！もちろん大吟醸もありますよ！有名な品評会でも賞をとっているようですが。私は『天山』をたっぷり、熱燗で味わっていただくのを勧めます（写真5）。羊羹もおいしい水が不可欠です



写真4 小羊羹  
小羊羹では町のいたるところに羊羹のお店があります。口腔外科の故 齋藤教授に送ったところ大変喜んでもらえました。その中でも写真上の村岡羊羹本舗は老舗で羊羹資料館も併設されています。



写真5 小柳酒造（左）と天山酒造（右）  
天山からの湧き水が祇園川（天山酒造の前の川）となり、伏流水がおいしい酒を育み、ホタルも育てています。初夏にはホタルが街中でも飛び交う姿が見られます。

よね。天山酒造の前を流れる祇園川は、5月の中旬からはホテルの乱舞でも有名です。

## ヒト

小城出身の有名人と言えば中林梧竹です(写真6)。書家で明治の三筆の一人です。富士山に登ったことがある方はご存知かもしれませんが、山頂にある「鎮国之山」という碑を建てたのが中林梧竹です。明治31年のことだそうです。

## 祭り

小城の祭りといえば芦刈町の「沖ノ島詣り」です。

「沖ノ島詣り」とは、300年ほど前、“おしま”さんという乙女が雨乞いの願をかけて有明海に身を投げ、その亡骸が沖ノ島に流れ着き、その後、雨が降って人々が救われたとの言い伝えが始まります。以来、沖の島に“おしま”さ

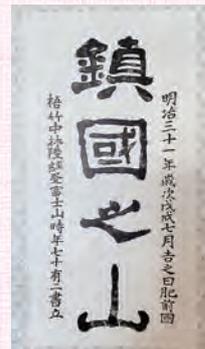


写真6 中林梧竹(梧竹記念館より)  
中林梧竹写真と富士山頂の「鎮国之山」の碑です。

んを祀り、毎年“おしま”さんの命日に「沖ノ島詣り」が行われています。有明海の数キロ沖に現れる沖ノ島は、干潮の時に海から現れる島で、満潮の時に船を出し沖ノ島の上に船を止めます。干潮になり船が陸上に上がり、また潮が満ち船が浮き、港に帰り着くまで男たちが笛や太鼓で、音頭を奉納しつづける祭りです。沖ノ島は、“おしま”さんの嫉妬をきらい今でも女人禁制です(写真7)。

私も毎年参加させていただいています。

佐賀県といえば、有田と唐津の焼き物、嬉野に代表される温泉ですね。小城は九州の小京都ともいわれ、滞在して楽しむには小さな街並みですが、街並みをぶらりと羊羹のお店に立ち寄り、羊羹とお茶でもお楽しみください。唐津線が小城駅(ちっちゃなちっちゃな木造の駅舎です)、長崎本線が牛津駅(ちっちゃなちっちゃなレンガつくりの駅舎です)が最寄りの駅です。

長崎や武雄温泉や嬉野温泉においでの際には、ちょっと立ち寄ってみられてはいかがでしょうか。



写真7 沖ノ島詣り  
豊作を祈り、数十艘の漁船が5キロほど沖の「沖ノ島」で朝まで笛や太鼓で“おしま”さんに感謝、奉納します。

